

授業科目区分	科目名 [英文名]		単位	N	S	M
専門教育科目	体育原理 [Sports Philosophy]		2			
授業形態	担当教員名		ナンバリング			
講義 アクティブ・ラーニング	川井 明		S-S2078			
この授業に関係する資格						
教員免許 (中学校 2 種・保健体育)						
学位授与方針 (ディプロマポリシー) との関連						
<input type="radio"/>	豊かな人間性 (広い視野、深い思考力)	<input type="radio"/>	健康づくりの実践的指導能力			
<input type="radio"/>	食、栄養科学の専門的知識	<input type="radio"/>	健康生活の知識と技術の修得			
<input type="radio"/>	健康管理の指導技術の修得	<input type="radio"/>	実社会に役立つ能力			
<input type="radio"/>	運動、スポーツ科学の専門的知識	<input type="radio"/>	社会に貢献できる実践力			
キーワード						
スポーツの歴史・スポーツの現在・スポーツの未来						
授業の目的と概要						
体育やスポーツに関する歴史的な推移や意味をふまえ、現代の領域における諸問題を哲学的、倫理的に考察し、スポーツ関係者として望ましい実践に貢献できるような価値観の形成を目指す。						
学習の到達目標						
古代から現代までのスポーツや体育の歴史を理解し、それをふまえて社会における体育やスポーツの持つ意味や現代における課題と哲学的な考え方を理解し、体育・スポーツの指導者としての各自の考えを明確にし、実際の指導に活かすことができる。						
回	テーマ	授業内容				AL
1	ガイダンス、授業計画	スポーツの定義、スポーツの意義と価値、社会におけるスポーツの価値、スポーツ宣言日本				
2	古代スポーツの歴史	歴史を学ぶ意味、ギリシャのスポーツと古代オリンピック				○
3	ヨーロッパのスポーツ史	古代ローマから中世ヨーロッパのスポーツの歴史				○
4	近代ヨーロッパの体育	ヨーロッパにおける体操教育				○
5	近代イギリスのスポーツ教育	イギリスのパブリックスクールのスポーツ教育				○
6	近代オリンピックの意義	オリンピックの歴史とその意義				○
7	日本の体育・スポーツの歴史	日本の体育およびスポーツの歴史				○
8	スポーツとジェンダー(1)	女性の体育・スポーツへの参加とその意義				○
9	スポーツとジェンダー(2)	女性のスポーツ参加を阻害する要因、多様化する性について、性的マイノリティとスポーツ				○
10	スポーツマンシップを考える	スポーツマンシップやフェアプレーの精神、スポーツの価値を考える				○
11	スポーツとハラスメント(1)	スポーツと暴力、スポーツと暴言、スポーツにおけるインテグリティの確保				○
12	スポーツとハラスメント(2)	スポーツとセクシュアルハラスメント、暴力・暴言・ハラスメント根絶のために				○
13	パラリンピックの意義	障がい者や障がいの理解、パラスポーツの現状と課題、パラリンピックの歴史				○
14	保健体育教師論(1)	体育教師と暴力問題				○
15	保健体育教師論(2)	体育教師と体育・スポーツ哲学				○
教科書及び参考図書						
参考図書：体育哲学原論、大橋道雄編、不昧堂出版、2011 スポーツと教育の歴史、成田十次郎編、不昧堂出版、1988						
準備学習・事後学習						
準備学習 (週 2 時間)：体育・スポーツに関する情報を、新聞やニュース・雑誌・インターネットや書籍等を通して収集すること。 事後学習 (週 2 時間)：授業中の内容を復習すること。						
課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法						
理解度確認レポートの回収後、フィードバックを行う。						
成績評価の方法・基準						
理解度確認レポート 70% 筆記試験 30%						
関連科目						
スポーツ指導論						
受講上の注意						
体育・スポーツに関する情報を、書籍や新聞・雑誌・インターネット等で自主的に学ぶ姿勢が求められる。また、それらの諸問題について自らの考えを文章化することや、グループやクラス全体に発信し共有できることが望ましい。						